

# 小国町立病院外来診療体制

令和元年6月1日現在

診療科	午前 午後	受付	診察	診察室	月	火	水	木	金
内科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00	一診	山形大 岡部(裕)3・7・1日 佐藤(誠)10日 細川(雅)17日 鳥居(由)24日	伊藤副院長	伊藤副院長	神田(梧)	伊藤副院長
				二診	阿部院長	山形大 奥本(和)	阿部院長	阿部院長	荒木(有)
				三診	荒木(有) (検査後)	神田(梧)	神田(梧)	荒木(有) (検査後)	
	午後	14:00-15:00	14:30-15:30	一診		伊藤副院長 (予約のみ)			
				二診	山形大 菅原(心)	山形大 奥本(和)	山形大 今(孝)	荒木(有)	荒木(有)7・21日 神田(梧)14・28日
小児科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00		山形大 橋本(多)3日 上村(雄)10日 小林(信)17日 松木(博)24日	山形大 齋藤(あ)4・18日 森(福)11・25日	山形大 高橋(辰)5日 松木(博)12・19日 小林(信)26日	山形大 目黒(亨)6・20日 松内(祥)13・27日	山形大 中村(和)7・28日 橋本(多)14・21日
	午後	13:30-14:30	13:30-15:00 (14:30まで待合室 にお越しください)						
整形外科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00			公立置賜総合 金谷(篤)4・18日 松木(宏)11・25日		公立置賜総合 岩崎(聖)6・20日 大樂(勝)13・27日	山形大 高野(満) 7・21日
産婦人科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00						山形大 酒井(-)7日 深瀬(美)21日 奥井(陽)28日
外科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00		山形大 高橋(良)3・17日 柴田(健)10・24日				
眼科	午前	8:00-11:30	10:00-13:00			山形大 富樫(敬)			
耳鼻 いんこう科	午後	12:30-16:00	13:30-16:30 (16:00まで待合室 にお越しください)		山形大 寺田(小)		山形大 後藤(崇) 5・19・26日 杉山(元)12日		山形大 杉山(元)7・21・28日 寺田(小)14日

診療科	午前 午後	受付	診察	月	火	水	木	金	土	日祝
歯科 (予約制) ☎62-2513	午前	10:00-12:30	10:00-13:00	休診	飯田 俊也	飯田 俊也	飯田 俊也	飯田 俊也	飯田 俊也	休診
	午後	14:00-18:00	14:00-18:30		新潟大 遠藤(論)4・18日 金丸(祥)11・25日	新潟大 新美(奏)5・19日 片桐(涉)12・26日	新潟大 長谷部(大) 6・13・20日 片桐(涉)27日	新潟大 渡辺(真)		

予防歯科や口腔外科の先生もおりますので、お口の中のこと全般にご相談ください

※外来診療体制は変更になる場合がありますので、電話で問い合わせてください。

## 診療日変更等のお知らせ



内科	荒木医師	7月1日(月)~5日(金) 休診
	神田医師	7月17日(水)~19日(金) 休診

小児科	6月14・28日(金) 午後休診 (町の乳幼児健診のため)
産婦人科	6月14日(金) 休診

## 小国町立病院



〒999-1356 西置賜郡小国町大字あけぼの一丁目1番地

http://www.ogunibyoin.jp/

☎.0238(61)1111 FAX.0238(61)1115

歯科直通 0238(62)2513

小国町立病院

検索

# ほっと通信

小国町立病院

令和元年6月1日発行

第68号

発行：小国町立病院情報管理委員会

私たちは 地域の方々とともに歩み 医療を通して 安心のある地域づくりに貢献します

## 地域医療懇談会を開催します

小国町立病院の機能や特性、さらに、それを生かして地域医療に取り組む当院の考え方などを広くお知らせするとともに、あわせて住民皆様方から、当院に対するご意見、ご要望等をお聞きしながら、社会環境の変化に応じた病院の姿を構築していくため、次のとおり地域医療懇談会を開催します。



### 対象

駐在地区や集落公民館、また、婦人団体、老人クラブ、スポーツ・文化団体など町内で活動している各種団体や企業など。

※任意に5人以上の参加者を確保し開催希望をいただける場合は上記に限らず対象とします。

### 開催方法

開催申込を受付し、日時等を調整して開催します。開催を希望される場合は、下記に電話で申し込みをして下さい。

- ① 当院からの出席者は、院長、看護部長、事務長のほか関係職員とします。
- ② 会場の設定などは申込者(各団体)で行っていただきます。
- ③ 懇談会の流れとしては、当院で進行し、最初の30分で当院の機能・特性のほか地域医療(癒しの園機能)の概要説明と疾病予防に関する話題を提供し、その後、30分の質疑応答とします。

### 申込・問合せ先

小国町立病院 総務係

電話：0238-61-1111 FAX：0238-61-1115

## 患者さんとの関わりから学ぶ

### ～高校生ふれあい看護体験～

高校生のふれあい看護体験(高校生職場体験学習)を、5月15日(水)に行いました。

この日は、看護師を目指す高校三年生一人が看護師から血圧の測定方法や車椅子の取り扱いなどを学んだ他、食事の配膳や介助、足浴などを通して患者さんとのふれあいを体験しました。

また、各部署を見学しながら看護師以外の専門職から仕事の説明も受け、チーム医療についても学びました。

参加した高校生は、医療を提供する側を体験でき勉強になった、話すことができない患者さんとの関わり方を見学し、コミュニケーションの大切さを感じたなどの感想が聞かれました。



## Topics

出来事・話題

「医療の現場から」では、医師や看護師などの医療現場のスタッフから、医療に関する情報をお知らせします。

内科常勤医の荒木有宇介医師から「成人の肺炎球菌ワクチン」に関するお話です。

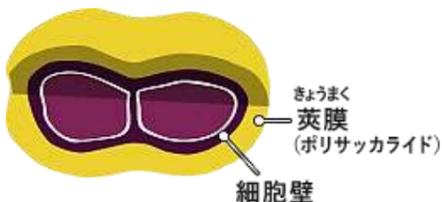
肺炎は、肺の組織が細菌やウイルスなどの病原体に感染し、炎症を起こした状態をいいます。細菌にはたくさんの種類がありますが、肺炎の原因として最も多いのが、今回お話する「肺炎球菌」という細菌になります。

肺炎球菌とは

肺炎球菌は、莢膜という分厚い膜に覆われており、からだの免疫からの攻撃に強く、退治するのが難しい細菌です。肺炎だけでなく、副鼻腔炎や中耳炎、髄膜炎など様々な感染症の原因となります。免疫不全のかたや、体力が低下した高齢者では、ときに命に関わる重篤な感染症を引き起こすことがあります。



内科常勤医  
荒木有宇介 医師



【肺炎球菌が原因となる様々な感染症】



肺炎球菌ワクチンの効果

肺炎球菌ワクチンを接種することで、すべての肺炎を予防することはできませんが、肺炎の原因として最も多い「肺炎球菌」による肺炎の重症化を予防できることがわかっています。

肺炎球菌ワクチンの接種

成人の「肺炎球菌」に対するワクチンとして、23 価ワクチンの「ニューモバックス®NP」と、13 価ワクチンの「プレベナー® 13」の 2 種類があります。

このうち、「ニューモバックス®NP」は 2014 年 10 月より 65 歳以上の方を対象に定期接種となり、該当する年度に 1 回のみ公費助成が受けられます。また、「ニューモバックス® NP」は 接種後 5 年以上経過すると徐々に予防効果が低下するため、5~10 年毎の再接種が推奨されています。（局所の副作用が強くなるため、再接種する場合は 5 年以上の間隔をあける必要があります。）

「プレベナー® 13」は定期接種の対象ではありませんが、「ニューモバックス® NP」と併用することが可能です。詳しくは外来でお尋ねください。

**感染症の予防には、手洗いやうがいに加え、ワクチンの接種が重要です。ぜひ積極的に予防接種を受けてください。**

私の仕事

病院では、医師を中心とした様々な専門職が 1 つのチームになり、医療を提供しています。医療現場の裏側を交えて、当院の職員の仕事を紹介します。



看護師(病棟)  
いとう ゆう  
伊藤 優  
(平成 27 年入職)



自分の一番強みは、体が丈夫なところと力があること！

看護師になったきっかけや経歴を教えてください

元々は、小さい頃から習っていたピアノの講師を目指し、高校卒業後は音楽学校への進学を考えていましたが、もっと地元で貢献できる仕事がしたいという思いがあり、看護師を目指すために大学へ進学しました。大学では看護師と保健師の資格を取り、サークルとして始めたストリートダンスの学校へ通うため、東京の大学院へ就職し、救命救急センターで 4 年勤務しました。その後、地元である小国町でのダンスの指導者のお誘いを受けたこともあり、小国町立病院に就職しました。

思い出に残っている看護のエピソードを教えてください

妊娠した時、患者さんが自分の具合が悪くても私の体を気遣って下さったり、大きくなるお腹を毎日撫でてくれたり、沢山のかたに優しく見守ってもらいましたが、ターミナル(終末期医療)で寝ている事が多かった患者さんが、産まれた子に会いたいと、体調が良い日にシルバーカーで歩いてお腹を撫でて来てくれた事がとても思い出に残っています。

やりがいを感じる時はどんなときですか

自分の未熟な経験であっても、患者さんの苦痛を少しでも和らげることが出来たときです。特に不安や恐怖などの精神的苦痛は、傷が治ったり、熱が下がったりするのと違い、良くなったなという評価が難しいです。いつも明るいかたでも、夜に訪室するとポツツと本音を語ってくれたり、日々の関わりの中で、ご本人やご家族が思いを病棟スタッフに打ち明けて下さったり、少しでも安心した表情がみられると嬉しく思います。

あなたの声

病院に寄せられたご意見・感想とその回答を掲載しています。(外来待合室・病棟ラウンジに投稿箱を用意しています。)

【ご意見・ご要望】

4 月に受診した者です。かかった病気を聞かれ、膝の手術を 4 回した、と話したら笑われ、内、半月板を 2 回したと話したところ、笑われました。

どういう気持ちで笑われたのか、私には理解できませんでしたが、とても、気分が悪かったです。

一患者の思いです。

※私も町外で働く看護師です。

(平成 31 年 4 月投稿)



【回答】

このたびは、せっかく当院を受診いただいたにもかかわらず不快な思いさせてしまい、大変申し訳ございません。適切な診療と安全を確保するために既往歴をお聞きすることとしておりますが、会話の中で患者様に対する配慮が不足しておりました。

心配や不安を抱える患者様のお気持ちを和らげるため、コミュニケーションを大切にしておりますが、よりお相手の気持ちに配慮したうえで接するよう指導したところであります。

貴重なご意見ありがとうございました。引き続きご指導よろしくお願ひいたします。